

平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成26年1月29日

上場会社名 養命酒製造株式会社 上場取引所 東名
 コード番号 2540 URL <http://www.yomeishu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 塩澤 太朗
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 田中 英雄 (TEL) 03-3462-8138
 四半期報告書提出予定日 平成26年1月31日
 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の業績 (平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	10,205	6.7	1,950	27.0	2,171	24.3	1,557	51.8
25年3月期第3四半期	9,564	3.0	1,536	8.5	1,746	7.8	1,026	24.7

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	52.05	—
25年3月期第3四半期	34.15	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	37,359	32,555	87.1
25年3月期	36,674	32,633	89.0

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 32,555百万円 25年3月期 32,633百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	—	—	18.00	18.00
26年3月期	—	—	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	18.00	18.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の業績予想 (平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,800	6.2	1,920	12.6	2,150	11.0	1,520	22.3	51.87

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

26年3月期3Q	33,000,000株	25年3月期	33,000,000株
26年3月期3Q	5,594,953株	25年3月期	2,957,892株
26年3月期3Q	29,925,977株	25年3月期3Q	30,043,468株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期財務諸表	5
(1) 四半期貸借対照表	5
(2) 四半期損益計算書	7
第3四半期累計期間	7
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
5. 補足情報	8
(1) 生産、受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間(平成25年4月1日から平成25年12月31日まで)におけるわが国経済は、政府による経済政策などを背景として円安・株高が進行し、一部の個人消費や雇用情勢に持ち直しの動きが見られ、景気は緩やかに回復しつつあるものの、本年4月からの消費税増税の影響や、海外景気の減速に対する懸念等もあり、引き続き先行き不透明な状況で推移いたしました。

当社の関連業界におきましても、業種業態を越えた企業間競争の激化が続き、生活防衛意識の高まりによる節約志向が続く厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で当社は、「生活者の信頼に応え、豊かな健康生活に貢献する」という経営理念の下、「養命酒」の効率的かつ効果的な販売促進活動により、「養命酒関連事業による安定的収益基盤の構築」に努めました。この収益基盤に基づき「持続的成長に向けた事業構造の変革」を基本方針とする中期経営計画の2年目として、「新規事業領域の拡大と成長性の確保」の各施策に取り組み、平成25年6月に新商品「食べる前のうるる酢」、「檸檬とハーブのお酒」、「林檎とハーブのお酒」を発売し、同年7月には埼玉県鶴ヶ島市の「鶴ヶ島太陽光発電所」を稼働いたしました。

また、当社グループにおける経営の効率化及び保有資産の有効活用を図るため、同年12月に、当社の100%子会社であるヤマツル株式会社を吸収合併いたしました。

当第3四半期累計期間の業績は、「養命酒」の売上が堅調に推移したこと及び新商品等の売上が寄与し、売上高は10,205百万円(前年同四半期比6.7%増)、営業利益は1,950百万円(前年同四半期比27.0%増)、経常利益は2,171百万円(前年同四半期比24.3%増)となりました。四半期純利益につきましては、「くらすわ」の減損損失628百万円を特別損失に計上し、ヤマツル株式会社の吸収合併に伴う抱合せ株式消滅差益732百万円を特別利益に計上したことにより、1,557百万円(前年同四半期比51.8%増)と増収増益となりました。

セグメント別には以下のとおりです。

①養命酒関連事業

主力商品「養命酒」につきましては、安定的な販売を堅持するため、効果的な販売促進活動に努めました。「女は7の倍数、男は8の倍数」の節目年齢における養生を訴求するとともに、「冷え」と「寝付き」をテーマとしたテレビスポット広告をエリア毎に順次実施したことに加え、プレゼントキャンペーン、雑誌とのタイアップ広告、首都圏における交通広告、ラジオ広告等を実施しました。また、広告に連動して店頭における販売促進活動を展開しました。これらの広告や販売促進活動においては、ターゲット層の幅を広げ、若年層や男性に向けた訴求を行うなど、新たな顧客の獲得に注力しました。

また、新商品「食べる前のうるる酢」につきましては、関東1都6県のコンビニエンスストアで発売し、認知度を高めるためのテレビスポット広告、雑誌、交通広告等による訴求を実施したことに加え、コンビニエンスストア店頭やウェブでのプレゼントキャンペーン、ターゲット層に向けたサンプリングによる販売促進活動を実施しました。また、「ハーブのお酒」につきましては、「ハーブの恵み」に新商品「檸檬とハーブのお酒」、「林檎とハーブのお酒」の2種類を加え、小売店の取扱い店舗数の拡大に注力するとともに、冬場の需要期に向けた企画提案や店頭における露出向上、メインとなる女性顧客層に対する試飲会やイベントへの参加、ウェブキャンペーン等の販売促進活動を実施しました。

海外におきましては、東南アジア諸国を中心として各国の市場環境に即したマーケティング活動に取り組みました。「養命酒」の理解と知名度の向上を目指し、各国に合わせた訴求テーマに基づき、プレゼントキャンペーンや店頭陳列の強化等の販売促進活動に取り組みるとともに、「養命酒」以外の商品のテスト販売や現地需要の調査など輸出領域の拡大に向けた各施策を実施しました。

インターネット通信販売サイト「Yomeishuオンラインショップ」につきましては、「くらすわ」販売商品、新商品等、取扱品目の拡充に取り組むとともに、「養命酒」の顧客への案内や「養命酒健康の森」、「くらすわ」への来場者に向けた紹介、販売促進キャンペーンの実施により、好調に推移しました。

以上の結果、「養命酒」の売上に「ハーブのお酒」、「食べる前のうるる酢」、「家醸本みりん」、「ミネラルウォーター」、「ドリンク剤」、「サプリメント類」の売上を合算いたしまして、養命酒関連事業の売上高は9,752百万円（前年同四半期比6.1%増）となりました。

②施設運営事業

「くらすわ」につきましては、開業3周年イベントを始めとして各種イベントの開催により集客に努め、長野県の地元産品の取扱拡充や、首都圏を始めとした催事出店、ランチメニューの充実、年末の贈答商品の重点販売などに取り組み、知名度の向上もあり、前年同四半期と比較し売上は堅調に推移しました。また、駒ヶ根工場見学施設「養命酒健康の森」につきましては、来場者数、売上ともに堅調に推移しました。

以上の結果、「くらすわ」、「養命酒健康の森」の売上を合算し、施設運営事業の売上高は334百万円（前年同四半期比8.1%増）となりました。

③その他

不動産賃貸と平成25年7月に稼働した鶴ヶ島太陽光発電所の売上を合算し、売上高は119百万円（前年同四半期比77.6%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末における総資産は、前事業年度末に比べ684百万円増加し、37,359百万円となりました。これは主に吸収合併に伴う株式買取請求による自己株式の買取り等により現金及び預金が1,703百万円、固定資産の減損処理等により有形固定資産が561百万円それぞれ減少した一方で、売掛金が1,604百万円、保有株式の時価評価等により投資有価証券が1,471百万円それぞれ増加したことによるものであります。

負債は、前事業年度末に比べ763百万円増加し、4,804百万円となりました。これは主に流動負債のその他に含まれる未払費用が231百万円、保有株式の時価評価の増加等により固定負債のその他に含まれる繰延税金負債が468百万円それぞれ増加したことによるものであります。

純資産は、前事業年度末に比べ78百万円減少し、32,555百万円となりました。これは主に四半期純利益1,557百万円の計上と配当金540百万円の支払いによる利益剰余金1,016百万円の増加、自己株式2,128百万円の買取りによる減少、その他有価証券評価差額金1,032百万円の増加によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成25年10月29日発表の通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,291,869	1,588,368
売掛金	2,238,488	3,843,316
有価証券	3,101,357	2,104,394
商品及び製品	294,667	271,659
仕掛品	183,917	181,990
原材料及び貯蔵品	442,268	404,042
その他	250,230	242,553
流動資産合計	9,802,798	8,636,325
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	3,658,107	3,185,740
その他(純額)	3,376,905	3,287,903
有形固定資産合計	7,035,013	6,473,644
無形固定資産		
24,483		29,960
投資その他の資産		
投資有価証券	14,342,697	15,814,174
長期預金	3,400,000	4,200,000
その他	2,076,666	2,212,465
貸倒引当金	△7,058	△7,058
投資その他の資産合計	19,812,305	22,219,581
固定資産合計	26,871,802	28,723,186
資産合計	36,674,600	37,359,511
負債の部		
流動負債		
買掛金	286,441	332,228
未払法人税等	372,461	379,032
賞与引当金	224,128	104,780
その他	1,494,103	1,783,063
流動負債合計	2,377,134	2,599,104
固定負債		
役員退職慰労引当金	48,350	48,350
その他	1,615,384	2,156,713
固定負債合計	1,663,734	2,205,063
負債合計	4,040,869	4,804,167

(単位：千円)

	前事業年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期会計期間 (平成25年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,650,000	1,650,000
資本剰余金	676,680	676,680
利益剰余金	31,645,365	32,662,307
自己株式	△2,885,173	△5,013,334
株主資本合計	31,086,872	29,975,652
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,546,858	2,579,691
評価・換算差額等合計	1,546,858	2,579,691
純資産合計	32,633,731	32,555,343
負債純資産合計	36,674,600	37,359,511

(2) 四半期損益計算書
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	9,564,915	10,205,983
売上原価	3,092,942	3,186,421
売上総利益	6,471,973	7,019,562
販売費及び一般管理費	4,935,836	5,069,385
営業利益	1,536,136	1,950,177
営業外収益		
受取利息	36,497	30,763
受取配当金	167,614	186,761
その他	18,627	14,086
営業外収益合計	222,739	231,611
営業外費用		
支払利息	10,852	9,605
その他	1,049	270
営業外費用合計	11,901	9,875
経常利益	1,746,974	2,171,913
特別利益		
固定資産売却益	949	1,500
投資有価証券売却益	—	680
抱合せ株式消滅差益	—	732,382
特別利益合計	949	734,562
特別損失		
固定資産除却損	4,949	8,480
減損損失	177,924	628,606
特別損失合計	182,873	637,086
税引前四半期純利益	1,565,050	2,269,388
法人税、住民税及び事業税	582,000	694,000
法人税等調整額	△43,066	17,689
法人税等合計	538,933	711,689
四半期純利益	1,026,116	1,557,699

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成25年12月1日を効力発生日として、当社の100%子会社であるヤマツル株式会社を吸収合併いたしました。この合併に反対する株主より、会社法第797条第1項に基づく当社株式の買取請求を受けたことにより、当第3四半期会計期間において当社株式2,634,000株の買取りを行いました。これにより、当第3四半期累計期間において自己株式が2,128,161千円増加いたしました。

5. 補足情報

(1) 生産、受注及び販売の状況

セグメント別売上高内訳表

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日	当第3四半期累計期間 自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日	前事業年度 自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
養命酒関連事業	9,188,678	9,752,621	11,585,098
養命酒	8,880,907	9,371,371	11,202,157
(うち輸出分)	(338,940)	(367,650)	(454,416)
その他	307,771	381,250	382,941
施設運営事業	309,205	334,331	379,714
その他	67,031	119,029	87,693
合計	9,564,915	10,205,983	12,052,507

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。